

第七十四回帝國議會 院 青年學校教育費國庫補助法案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案
青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)

會議

昭和十四年二月二十一日(火曜日)午前十時
四十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事武知 勇記君 理事長野 高一君

理事會和 義式君 理事一ノ瀬俊民君

多田 滿長君 手代木隆吉君

佐藤 與一君 長野 長廣君

庄司 一郎君 田子 一民君

河上 哲太君 簡牛 九夫君

河合 義一君

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

內務大臣 侯爵木戶 幸一君

出席政府委員左ノ如シ

文部參與官 野中 徹也君

文部省普通學務局長 藤野 惠君

文部省社會教育局長 田中 重之君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)

○野村委員長 是カラ開會致シマス——長

野君

○長野(長)委員 此ノ際內務大臣ニ一應御

伺ヲ申上ゲタイト思ヒマス、現今我國ノ教育行政ハ、特ニ地方行政ニ於テ其ノ衝ニ當ル地方官ハ、何レモ內務大臣ニ於テ人事ヲ取扱ツテ居ラレマス、而シテ單ニ學務部長、課長ニ止マラズ、視學官、新ニ任命サルベキ青年教育官ノ如ク、深刻ナル教育技術ノ中ニ立入ルベキ官吏モ亦內務大臣ニ於テ任命サレルノデアリマス、然ルニ人情ノ歸趨トシマシテ、自己ノ任命ニ直接與ラレル大臣ト然ラザル文部大臣トノ間ニ、服從等ノ點ニ付テ逕庭ヲ生ジ易イト云フコトハ人情已ムヲ得ナイコトデアラウト思ヒマス、併シナガラ現在官吏服務紀律ナルモノガアリマシテ、其ノ官吏ハ如何ナルモノタルヲ問ハズ上官ノ命ニ是レ從ヒ、事務ノコトニ付テハ大臣ノ如何ヲ問ハズ、眞面目ニ行ハナケレバナラナイモノデアルト私ハ考ヘマス、然ルニ昨日文部大臣ノ御答辯ノ中ニ、地方行政官ノ中ニ動モスレバ文部大臣ノ威令ニ十分ニ從ハナイ者ガアルト云フヤウナコトヲ聞カヌデモナイヤウナ意味ノ御答辯ガアツタヤウニ思フノデゴザイマス、速記録ヲ調べテ見マシタガ、確ニ左様ナ意味ノコトガアルノデアル、現ニ文部大臣ハ痛感ヲセ

ラレテ居ル、又私モ左様ナ事實ハ嘗テヨリ現實ニ見テ居ルノデアリマス、內務大臣ハ嘗テ文部大臣ヲサレテ居リマシタカラ、必ズヤ或ハ直接ニ、或ハ下僚ノ報告ノ中ニ或ハ又雜談ノ中ニデモ御耳ニ挿マレタコトハ度々デナイカト思フノデゴザイマス、ソコデ茲ニ御伺申シタイコトハ、內務大臣ハ左様ナコトヲ聽クト聽カザルトヲ問ハズ、自己ノ管下ニアル官吏ガ其ノ大臣ガ文部タルト內務タルト、其ノ他ノ大臣タルトヲ問ハズ、能ク其ノ關係ノ行政上級官廳ニ對シテ、命ニ從フヤウニ御注意アツテ居ルコト考ヘル、殊ニ教育ノコトハ學校長ガ其ノ經營ノ衝ニ當リ、部下教員ヲ統制シ、而モ學校ハ畏多クモ 陛下ノ教育勅語ヲ拜戴シ、畏クモ教育勅語ノ本旨ニ從ツテ、何人モ之ヲ左右スルコトガ出來ナイ大權威ノ下ニ經營シテ居ル、隨ヒマシテ是等教育ニ從事スル校長教員ノ教權ニ對シテハ、絕對神聖ナルコトヲ認識シテ、之ニ當ル所ノ教員ハ、私人トシテハ別トシテ、公人タル其ノ教育者ニ對シテ、人事其ノ他ノ事項ニ付テハ眞摯敬虔ナル態度ヲ以テ事務ニ當ラナケレバナラスト、常ニ御督勵ヲサレテ居ルト存ズルノ

デゴザイマス、內務大臣ハ平素如何ナル御指導御監督ヲサレテ居リマスカ、極メテ簡單ニ以上ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス
○木戸國務大臣 地方長官ノ監督ニ關シマスル御尋、殊ニ教育ニ從事スル者ニ對シテノ御尋デアリマスガ、只今御話ノ地方官吏ニ對シマスル督勵ト云フ點ニ付キマシテ御述ノ點ハ私モ全然同感デアリ、又私ト致シマシテモ從來共其ノ點ニ付テハ、文部省ニ居リマス時以來努メテ居ルノデアリマス、先程御話ノ、兎角地方官トシテ働イテ居ル者ガ內務省ニ向ツテハ非常ニ勤メルガ、他ノ省ニハ勤メナイト云フ噂ガアルコトハ、私モチヨイ／＼耳ニ致シテ居リマス、併シチガラソレハ全部ガサウデハナイ、御話ノヤウナ人心ノ機微カラ往々ニシテ斯ノ如キ事ガアルコトモアリマスガ、其ノ點ハ特ニ注意ヲ致シマシテ、十分ノ戒飭ヲ致シテ居ル譯デアリマス、而シテ教員ノ人事ニ付キマシテハ、只今御話ノ通り洵ニ重大ナル責務ヲ負ウテ居ルノデアリマスカラ、是ガ取扱ニ付テハ慎重ヲ期シテ居ルコトハ勿論デアリマス、ト同時ニ教員タル者ニハ、其ノ重

大ナル地位ニ對シテ恥カシカラヌダケノ教育ト人格ヲ持タセルコトニ付テ十分ナル努力ヲ致スコトモ亦必要デアルト考ヘテ居リマス、以上ノヤウナ譯デ、大體ニ於キマシテハ只今御話ノ通りニ御同感デアリマス

○長野(長)委員 全部ガサウデハナイト仰セラレマスガ、ヤハリ左様ナコトガ相當數アルト云フコトヲ言外ニ述ベラレタモノト

拜承致シマシタ、現在最モ大切ナ官吏ノ服務紀律ニ違反ヲ致シマシテ、サウシテ寧ロ言葉デ言ヘバ文部大臣ノ威令ヲ愚弄スルガ如キ態度ニ出タト世間デ言ハレ、又本人モ左様ニ告白シタト、其ノ地方ノ教育界ヲ騷然タラシメテ居ル事件ガアリマス、洵ニ一地方ノ事ノヤウデアリマスケ

レドモ、是ガ現ニ全部ガサウデハナイガサウ云フコトハアラウト大臣ノ述ベラレタコトヲ裏書シタ事實デアリマス、此ノ事實コソ現今ノ地方行政官ノ心理、又平素ノ行動ヲ遺憾ナク代表的ニ表明シテ居ル事件デア

ルノデアリマス、此ノ事件ヲ内務大臣ハ御承知デゴザイマセウカ、詰リ九州ノ某縣ニ於キマシテ學務行政官ガ文部大臣ノ威令ニ從ハズ、隨テ地方教育行政ヲ混亂ニ陥レ、幾万ノ教育者ヲ不安ニ陥レ、又操觚界ニ向ツテマデ騷然タル大問題タラントシテ居ル

事件ガアルノデアリマス、又其ノ起ツタ原因ガ教育者ノ教權ヲ尊重セズ、大臣ノ御認

メニナツタ教權ヲ無視シテ、學校長ノ部下統率權ヲ攪亂シテ居ルト云フ事件デア

アルノデアリマス、之ニ付テ輪廓ヲ御承知デゴザイマセウカ、具體的ニ御承知デア

ルカナイカ、ソレヲ御答願ヒタイ

○木戸國務大臣 私ハ其ノ問題ニ付キマシテハ、昨日文部大臣ニ對シテ御質問ガアリ

マシタコトヲ傳承シテ居ル以外ニ、何モ未ダ十分承知致シテ居リマセヌ

○長野(長)委員 今ヨリ二十日程前ニ私ハ

地方局長ニ對シマシテ此ノ話ヲ詳細ニ致シ

マシタ、然ルニ地方局長ハ常識デ考ヘラレ

ルコトデナイ、モツトアナタニ調査セラレ

タコトガアリマスサカト私ハ反問ヲ受ケタ、ソ

コデ私ハ詳細ニ調査ヲシテ居ル、又由々シ

キ問題デアルト知ツテ居ル、アナタハ是ダ

ケノコトヲ私ガ申シタ以上ハ、地方局長ト

シテ調査ヲスル責任ガアルデハナイカ、何

モ長野代議士ノ調査ノ範圍ニ依ツテノミ

アナタガ行動ヲシナケレバナラヌ要ハナイ、

速ニ調査ヲシテ貰ヒタイト申シマシタガ、

大臣ノ仰セラレル如ク重大ナ事件デアリ、神

聖ナル教權ニ關スル問題デア

ル、而モ文部大臣トノ間ニ左様ナ御交渉ガアツテ居ルニ

拘ラズ、未ダ地方局長ノ報告ヲ受ケナイ、

詰リアナタノ御氣持ハ地方局長ノ氣持ニナ

ツテ居ナイ、斯ウ私ハ考ヘザルヲ得ナイノ

デアリマス、地方局長ハ必ズ御取調ベニ

ナツタコトト思フ、私ニ嘘ヲ言フヤウナコ

トハナイト思フ、調査ヲシタナラバ、苟モ

アナタノ仰セラレル如ク大切ナル教權ニ關

スル問題デアリマスルガ故ニ、是ハ必ラズ

報告シナケレバナラヌト思フ、是ハ私ハア

ナタノ部下ガアナタノ心理、アナタノ信念

ヲ十分ニ體得シテ居ラレナイコトヲ、アナ

タ自身ガ表明セラレタモノト考ヘタイノデ

アルガ、如何デゴザイマセウ、是ガ一ツ、

次ニアナタハ地方長官ヲ監督セラレテ居

ル、地方長官ノ行動ハ常ニ内務大臣ガ之ヲ知ツ

テ居ナケレバナラヌ、私ノ知ル所デハ現ニ

其ノ縣知事ハ昨日東京ニ參ツテ居ル筈デア

ル、而モ——或ハ間違ヒカモ知レヌケレド

モ、ソレヲ乘セタ自動車ハ某官廳ヨリ迎ヘ

ニ出シタ自動車デア

ル筈デア

ル、更ニ又此

ノ重大ナル問題ハ地方長官ノ責任トシテ、

其ノ地方長官ハ現ニ内閣ニ坐シテ居ル官吏

ノ家ヲ訪問シテ、サウシテ言葉ヲ盡シテ部

下ノ官紀紊亂ニ對スル失態ヲ蔽フベク諒解

運動ヲ致シテ居ル筈デア

ル、更ニ第二ノ御尋ハ、其ノ地方長官ガ東京ヘ來テ居ルト云

フコトヲ認メルヤ否ヤ、又其ノ長官ノ下ニ

アル教育行政官ガ任地ヲ離レテ東京ヘ來タ

事實ハアルカナイカ、又地方長官ハ東京デ

動ク間ニ内閣ニ屬スル自動車ヲ利用シテ動

イテ居ル事實ガアルカナイカ、又其ノ地方

長官ハ内務大臣ノ諒解ヲ得ズシテ、此ノ重

要ナル所ノ質問ニ關聯スル事項ニ付テ官吏

ヲ訪問致シテ、諒解運動ヲヤツタ事實ガア

ルカナイカ、詰リアナタノ下僚タル、アナ

タノ氣持ヲ常ニ體得セシメテアル所ノ地方

長官ハ、是等ノ事柄ニ付テ如何ナル行動ヲ

シテ居ルカト云フコトヲ御承知デア

ルカ、率直ニ一ツ御説明ヲ願ヒタイノデア

リマス

○木戸國務大臣 只今御話ノ第一點ハ、地

方局長ガ私ノ信念ヲサウ云フ風ニ考ヘテ居

ルノダラウト云フ御尋デアリマシタガ、其

ノ點ニ付テハ地方局長ハ何ト考ヘテ居リマ

スカ知リマセヌガ、私トノ間ニハマダ何等

其ノ話ハ致シテ居ラスノデアリマス

ソレカラ次ノ地方長官ガ上京シテ居リマ

スコトハ私モ承知シテ居リマス、併シ地方

長官ガ如何ナル行動ヲ執リ、如何ナル車デ

歩イテ居ルカト云フコトニ付テハ、何モ私

ハ存ジテ居リマセヌ

○長野(長)委員 御存ジナケレバ、現ニ私ガ

茲ニ重大ナ質問ヲ爲シテ居ル關係上、之ヲ調査シテ、サウシテ果シテ左様ナ失態問題ガアルカドウカト云フコトヲ質ス責任ガアルト思フガ、ソレニ付テ如何ナル御考ヲ持ツテ居ラレカ、御答願ヒタイ

○本戸國務大臣 只今ノ問題ニ付キマシテハ、篤ト調べマシタ上デ御答致シマス

○長野(長)委員 本日中ニ出來マセウカ、ソレヲ御尋シタイ

○本戸國務大臣 成ベク速ニ取調べタイト思ヒマス

○長野(長)委員 成ベクト云フ言葉ハ不穩當デアルト思フ、苟モアナタハ自分ノ部下ニ對シテハ、特ニ御注意ナサレテ居ルコトハ既ニ明カデアリマス、成ベクデナク、即刻調査ニ取掛ツテ、少クトモ二時間以内ニ私マデ御報告願ヒタイト思ヒマス

○本戸國務大臣 只今ノ御話デアリマスガ、本日ハ午後ニハ大キナ法案モ衆議院ノ方ニ出マスシ、又貴族院ノ方ノ關係等モアリマスカラ只今ノ二時間ト云フコトニ付テハ御同意致シ兼ねマス

○長野(長)委員 成ベク早くシテ戴キタイト思ヒマス——學務課長ガ文部大臣ニ對シテ、文部大臣ノ意圖ニ反シ、反抗的態度ヲ執ツタコトハ、事實デアルト私ハ認メテ居リマ

ス、之ニ對シテ内務大臣ハ、直チニ調査ヲセラルル御意思ガアリマセウカ、ソレヲ御尋シタイ

○本戸國務大臣 大體ニ於キマシテ、私ハ只今ノ事件ニ付テハマダ責任アル御答ヲ致スダケノ調査準備等ヲ致シテ居リマセス、隨ヒマシテ今御話ノコトヲ十分頭ニ入レマシテ、綜合的ニ調査ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 内務大臣ノ御答辯ハ、普通ニ行ハレル官吏ノ議會ニ於ケル技術的答辯ト拜聽セザルヲ得ナイコトヲ私ハ遺憾ニ思ヒマス、私ハ無理ヲ申スノデハアリマセス、成ベク早く調査ヲシテ貰ヒタイ、又斯ウ云フ事項ガアルト具體的ニ指摘シテアリマスカラ、之ニ對シテハ誠心誠意御答辯下サルコトガ必要ト思ヒマス、綜合的トカ何トカト言ハレル、何ト云フアナタハ不所存ナ御答辯デアリマスカ、綜合的モ何モナイ、著實ニ其ノ事實ヲ調査シ、然ル後ニ包括的ニ綜合的ニ之ニ對スル内務大臣ノ斷案ヲ下サレルコトガ、内務大臣ノ議會ニ對スル責任デハナイカ、アナタハ私ノ質問ヲ何ト御考ニナツテ居リマスカ、私ハアナタガ誠實ナ答辯ヲナサナイ場合ハ、此ノ委員會ノ審議ヲ中止シテモアナタノ反省ヲ促サナレケ

バナラスト思ヒマス
更ニ私ハ茲ニ御伺シタイコトガアリマス、兎ニ角地方局長ハ、之ヲ調査スルト云フコトヲ二十日程前私ニ明言致シテ居ル、故ニ地方局長ヲ御呼びニナツテ御尋ニナルナラバ、本問題ノ真相ガ直チニ分ルコトト思ヒマス、若シ地方局長ニシテ此ノ調査ヲ爲シテ居ラナケレバ、私ヲ偽ツタコトニナルノデアリマス、必ズヤ左様ナコトハナイト確信ヲシマス、速ニ地方局長ニ就イテ御調べニナリ、上京ヲシテ居ル地方官ニ就イテ具體的ニ調査ヲサレマシテ、然ル後ニ包括的ナ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、如何デアリマセウカ

○本戸國務大臣 只今御話ノヤウニ、私ガ綜合的ト云フコトヲ言ツタノハ、御話ノ通りノ意味デアツテ、文部省ニモ關係ガゴザイマス、各方面ニ關係ガアルコトデアリマスカラ、ソレ等十分調査シタ上デ責任アル御答ヲシタイ、斯ウ云フ意味デアリマス、取調べタ上デ御答致シマス

○長野(長)委員 内務大臣ハ嘗テ近衛内閣ノ閣僚タリシ際ニ、官吏身分保障令撤廢ノコトニ付キマシテ、近衛首相ノ御意圖ニ賛成ヲセラレ、又其ノ意味ヲ相當責任アル人ニ御洩シニナツテ居ルコトヲ承知致シ

テ居リマスガ、左様ナ事ガアツタデアリマセウカ、先ツソレヲ御伺致シタイ
○本戸國務大臣 近衛内閣ノ當時、官吏制度ノ改革ト云フヤウナ問題ノ場合ニ於キマシテ、身分保障令ノ撤廢ト云フコトノ問題ガ取上ダレテ研究サレタコトハ事實デアリマス、其ノ場合ニ、撤廢スルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、各方面ノ意圖等ヲ徴シツツ進行シテ居リマシタガ、途中ニシテ結論ヲ得ズシテ内閣ガ更迭シマシタ、斯ウ云フノガ實情デアリマス

○長野(長)委員 内務大臣ノ良心ニ問ハレテ特ニ慎重ニ御答ヲ願ヒタイコトハ、其ノ問題ニ對シテアナタノ信念ヲ相當責任アル方ニ洩ラサレテ、而モ其ノ内容ハソレニ賛成デアルト云フヤウナ御話ノアツタコトヲ、私ハ確ニ承ツテ居ルノデアリマスガ、大臣ノ良心ニ問ハレテ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○本戸國務大臣 私ガドナクニサウ云フ意味ノコトヲ話シタカ存ジマセヌガ、私ハ當時贊成論、反對論等ニ付キマシテ檢討ラシツツアリマシテ、ソレヲ全部考慮ノ中ニ入レテ研究シテ居ツタノデアリマス、隨ヒマシテ私ガ自分ノ責任アル態度トシテ、之ヲ撤廢スルコトニ賛成シタコトハナイノデア

第六類第十號 青年學校教育費國庫補助法案委員會議錄 第四回 昭和十四年二月二十一日

リマス

○長野(長)委員 先程ノ御答辯ノ中ニ、地方行政官ニシテ文部大臣ノ意圖ニ反シ、其ノ威令ニ從ハザル者ガ、全部トハ言ヘナイガ相當アルト云フコトヲ、何人モ首肯スル如キ意味ヲ言外ニ包含シテ御答辯ガアツタノデアリマス、斯様ニ官吏服務紀律ノ下ニ律セラレテ居ル場合ニ於テサヘモ、上級官廳ニ對シテ其ノ威令ニ從ハズ、其ノ意圖ニ反スルガ如キ行動ニ出ル者ガアリト確認セラレル場合ニ於キマシテ、而モ一般民衆ニ對シ、ソレ等ノ官吏ガ甚ダ眞面目ヲ缺ク場合ガアリ、親切ヲ缺ク場合ガアリ、問題ノアル場合ガアルト云フコトモ、是ハ常識的ニ考ヘテ否定スルコトハ出來ヌト思ヒマス、就キマシテハ官吏服務紀律サヘ徹底セズ、内務大臣ノ監督サヘ届カス、斯ル事實ノアルコトヲ表明セラレル以上ハ、茲ニ當然大臣ノ仰セラレタ人情ノ機微已ムヲ得ズト或ル程度マデ許サナケレバナラス、其ノ人情ノ機微ヲ律スルモノハ何カト申シマスルト、此ノ官吏身分保障令ノ撤廢デアルト私ハ考ヘル、斯様ナモノガアルカラ、其ノ人情ノ機微ハ、遂ニ枉ガテ忌ハシイ行動ヲ執ル者ヲ輩出セシムルコトニ相成ル次第デアリマス、内務大臣ハ既ニ左様ナ者ノ生ズルコト

ガ相當ニアル、又已ムヲ得ヌト云フコトヲ肯定セラレテ居リマスル以上ハ、身分保障令ノ撤廢ナル問題ニ付テハ、相當深刻ナ考慮研究ヲ要セラレル必要ガアル、アナタノ良心ニ問ハレ、アナタノ職責ニ問ハレ、又神聖ナル此ノ委員會ニ於ケルアナタノ責任ニ於カレマシテ、必ズ是ハ考慮研究ヲセラレル必要ガアルト思ハレルノデアリマスガ、ナイト思ハレルカ、アルト思ハレルカ、其ノ點ヲ明確ニ御答ヲ願ヒタイ

○本戸國務大臣 身分保障令ノ撤廢ト云フ問題ニ付キマシテハ、現内閣ニ於テハ平沼總理大臣ヨリ、今日其ノ撤廢ノ必要ナシト云フ御答辯ヲ既ニ議會ニ於テシテ居ラレルノデアリマス、而シテ只今御話ノヤウニ、身分保障令ヲ撤廢スルト云フ一ツノ論モ強ク行ハレテ居ルコトヲ私ハ承知シテ居リマス、併シナガラ今日之ヲ直チニ撤廢致シマセヌデモ、官吏ノ監督、官紀肅正ノ勵行ト云フコトニ付テハ、身分保障令ト申シマスカ、嚴格ニ云ヒマスト官吏ノ分限委員會ノ活用ニ依リマシテ、相當程度ノ實效ヲ擧ゲテ行クコトガ出來ルト考ヘテ居リマスノデ、私ト致シマシテハ官吏道肅正其ノ他ノ問題ニ付キマシテハ、今後此ノ運用ニ付テ特ニ考慮ヲシテ進メテ行キタイト考ヘテ居リマス

ス

○長野(長)委員 分限委員會ノ活用等ニ依ツテ云々ト申サレマスガ、既ニ内務大臣御自身ニ於テ、所謂已ムヲ得ザル人情ノ機微ニ胚胎ヲシタ原因カラ行ハレルト言ハレテ居ル、日常坐臥、常ニ責任ニ目覺メテ之ヲ重シナケレバナラス服務紀律ノ問題デサヘ、人情ノ機微デ從ヒ得ナイト云フ者ヲ、罪ヲ犯シタカラ之ヲ罰スルト云フヤウナコトデ、官紀ノ肅正ガ出來ルモノデハナイト私ハ考ヘル、ソレハ私モウ多クノ言ヲ費ス必要ハナイ、アナタハソレハ逃口上ダ、人情ノ機微已ムヲ得ナイ點ニ於テ既ニ御認メナツテ居ル以上ハ、其ノ人情ノ機微ト雖モ陛下ノ官吏デアル、官吏服務紀律ニ律セラレテ居リナガラ人情ノ機微已ムヲ得ヌト斯ウ仰セラレルナラバ、其ノ人情ノ機微ニ即シテソコニ誤ナカラシメルモノハ、即チ平素何時モ俺ノ身分ハ絕對ニ大丈夫ダト感ズル其ノ原因ヲ成ス保障令ヲ撤廢スル以外ニ途ハ私ハナイト思ヒマス、ソレヲアナタガ色々言ハレルノハドウモ腑ニ落チナイ、所謂逃口上、技術的答辯ノ弊ニ陥ツテ居リハシナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、殊ニ近衛首相ガ身分保障令ヲ撤廢セラレルコトヲ言明セラレタ其ノ際ニ、今反對的ナ主

張ヲセラレテ居ルアナタガ賛成ヲシタ、贊成ノ意味ヲ而モ自ラノ信念ニ於テ述ベラレタト云フコトヲ、世間デハ現ニ聞イデ居ル者ガアル、彼此綜合致シマシテ私ハアナタノ良心ニ問ヒ、アナタノ信念ニ問ヒ、アナタノ國務大臣トシテノ責任ニ問ヒ、少クトモ此ノ問題ニ付テハ考慮セラレル責任ガアル、サウシテ場合ニ依ツテハ總理大臣ヲ御説キニナツテ、私ガ全智全能ヲ發揮シテモ、人情已ムヲ得ズ斯ウノ斯ウ云フコトニナリマスカラ、之ヲ咎メナケレバ陛下ノ官吏トシテ申譯ガナイ、ドウカ一ツ總理大臣ハ考慮スルヤウニセラレテハドウカト、アナタガ進言セラレレバ、正ニ誠實ナ大臣デアル、斯様ニ私ハ考ヘル、是デモ尙ホ考慮スル餘地サヘナイカ、考慮スル餘地ナシトスルナラバ左様ニ明言ラセラレタイ、考慮スルトスルナラバ左様御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○本戸國務大臣 只今ノ身分保障令ノ點ニ付キマシテハ、先程御答辯ヲ致シタ通りデアリマス

○長野(長)委員 ソレデハ考慮セラレル餘地ナシト御考デアリマスカ、之ニ對シテ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○本戸國務大臣 考慮ト云フ意味ハドウ云

フ意味デアルカ、解釋ノ仕様ニ依ツテハ
色々ニ取ラレルノデアリマス、現在ニ於キマ
シテハ私ハ此ノ内閣ノ大臣トシテ、今日ノ
實情ニ於キマシテハ、出來ルダケ分限委員

會ヲ活用シマシテ、サウシテ官吏ノ道ヲ正
シテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデア

リマス、身分保障令ノ撤廢ノ可否等ニ付テ
ハ、會テ問題デアリ、又今日モ問題デアリ

マス、隨ヒマシテ、十分ノ考究ノ餘地ハア
ルト思ヒマス、唯現實ノ問題ト致シマシテ、

今日ハ平沼内閣ニ於キマシテハ撤廢セズト
云フ方針ノ下ニ總テノ行政ヲヤツテ居ル、

斯ウ云フ方針デアリマスカラ、私ト致シマ
シテハ只今申上ゲタヤウナ分限令ノ活用ヲ

十分ニ致シマシテ、官紀ノ肅正其ノ他ニ付
テハ遺憾ナキヲ期シテ行ク、斯ウ云フ風ニ

考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 今ノ御答ノ中ニ、十分考
究ノ必要ガアルト云フ御言葉ガアツタヤウ

ニ思ヒマス、十分考究ノ必要アリト云フノ
ハ、アナタ個人トシテノ御考デアリマセウ

カ、ソレヲ御尋致シタイ

○木戸國務大臣 考究ノ必要アルベキ問題
デアルト云フ意味デアリマス、私トシテモ

隨テ始終其ノ事ハ頭ニアリマスガ、未ダ其
ノ結論ハ——如何ナル方向ニ持ツテ行クカ

ト云フコトハ、前代カラノ問題トシテ残ツ
テ居ルノデアリマス、併シ是ハ世間デ問題
ニナルベキモノデアルト云フ意味デアリマ
ス

○長野(長)委員 考究ノ必要ガアルモノデ
アルト、アナタガ客觀的ニ眺メラレテ御述

ニナツタヤウニモ考ヘラレマスケレドモ、併
シアナタガ責任ヲ以テサウ御考ニナレバ、

アナタ個人トシテハ考究ノ餘地アリト客觀
的ニ御考ニナルト云フヤウニ承知シテ宜シ

ウゴザイマセウカ

○木戸國務大臣 勿論個人トシテハ、此ノ
問題ハ世間ノ大キナ問題デアリ、會テモ問

題デアツテ、近衛内閣ニ於テハ私モソレ等
ニ付テ研究シタノデアリマスガ、個人ト致

シマシテ之ヲ考ヘルト云フコトニ付キマシ
テハ、勿論考ヘナケレバナラス大キナ問題

デアルト思ヒマス、唯結論ハ中々容易ニ出
マセヌカラ、今日ノ事態ニ於キマシテ私ハ

先程申上ゲマシタヤウニ、分限委員會ヲ活
用シテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 此處デ御述ニナツタコト
ハ、個人ト申サレマシテモ、國務大臣トシテ

御答ニナツテ居リマスカラ、國務大臣個人
トシテ考究ノ餘地ガアル問題デアル、併シ結

論ハ中々容易ニ到達セヌカモ知レヌ、サウ

云フ御答ト拜聴致シマス

ソコデ私ハ御尋シテ置キタイ、若シ國務
大臣個人トシテ御研究ニナツテ、而シテ容

易ニ結論ニ到達スルトハ思ハナカツタケレ
ドモ、色々ノ事態ノ發生ヲ見テ必要アリト

結論ヲ得ラレタナラバ、初メテソレハアナ
タノ確固タル信念トナツテ來ルモノト言ハ

ナゲレバナリマセヌ、左様ニ承知致シテ宜
シウゴザイマスカ

○木戸國務大臣 只今ノ御尋ノ點ハ、個人
トシテドウ考ヘルカ、個人トシテト云フコ

トハ、此ノ席デモ、御尋ニ對シテ御答シタ
ノデアリマシテ、個人ト云フ意味デ私ハ考

ヘテ居リマス、併シナガラ只今御話ノヤウ
ニ、此ノ問題ハ結論ガ出マシテ、シナイ方

ガ宜イトカ、或ハスル方ガ宜イトカ、是ハ
世間等ノ空氣モ、色々議論サレテ居ル際デ

アリマスカラ、ソレ等ハ常ニ頭ニハ入レテ
置ク、斯ウ云フ意味ニ於テ私ハ考ヘテ居ル

ノデアリマス

○長野(長)委員 アナタノ個人トシテノ御
考ガ、國務大臣トシテ御考デアルカ、一切

ノアナタノ公人トシテノ立場ヲ離レタ私人
木戸侯爵トシテノ御考デアルカト云フコト

ニ付テノ見解ハ、ソレハ私此處デ議論ヲ致
シタクアリマセヌケレドモ、要スルニアナ

タハ個人トシテ御研究ノ上デ結論ニ到達シ
タナラバ、少クトモアナタ個人トシテノ信

念トナルト云フコトダケハ、アナタトシテ
ハ御差支ナイモノト云フ風ニ拜聴致シマス、

ソコデ私ハ一言申上ゲテ置キマス、アナタ
ガ此處デ申述べラレマシタ結論ニ到達シタ

ナラバ其ノ信念トナルト云フコトヲ、國務
大臣一己ノ立場——國務大臣トシテ御答辯

ニナツタコトニ考ヘルト致シマシテ、茲ニ私
ハ一言申シテ置キタイノデアリマス、平沼

總理大臣ハ樞密院ニアラレル際ニ於テハ、
絕對ニ身分保障ノ制度ヲ撤廢スルコトニ反

對セラレタト承知シテ居リマス、サウシ
テ其ノ平沼樞密院議長ガ首相トシテノ地位

ニ坐ラレタ、隨テ平素ノ御信念ノ如ク此ノ
制度ヲ撤廢シナイト言明セラレタ、然ル

ニアナタハ此ノ席ニ於テ考慮ノ餘地ハア
ル、考慮ハ進メテ行キタイト思ツテ居ルト

仰セラレル、若シ考慮ノ結果必要ナシトス
ルナラバ、平沼首相同一ノ意圖ニ相成ル

ノデアリマス、併シナガラ調査研究ノ結果
必要アリト云フ結論ニ到達致シタ際ニ於テ

ハ、明ニ平沼首相トハ對立ノ立場ニ相成ル
ノデアリマス、是ハ申スマデモナイコトト

思ヒマス、ソコデ此ノ御言葉ハ、前申上ゲ
タ前提ニ於テ考ヘマスル時ニ於テハ、アナ

タハ平沼首相ト明ニ即シテ居ナイ、アナタノ御信念ハ平沼首相ト一致シテ居ナイ、全然對立ノモノデアルト考ヘザルヲ得ナイト思フノデアリマス、是ハ私ノ承リマシタ所カラ歸納シテ到達シタ私ノ信念デアルノデアリマス、仍テ此ノ點ハ特ニ御銘記ヲ願フテ置キタイト思ヒマス

ソコデ最後ニ御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマスルコトハ、我國三十幾萬ノ教育者ハ、自ラ身命ヲ投ジテ、全身全靈ヲ自己ノ本務ニ傾倒セント致シマシテモ、其ノ任地ニ於テ地位ノ不安ヲ感ジ、其ノ平素ノ行動ニ於テ自由ヲ束縛セラレルコトノアル爲ニ非常ニ遺憾ト致シテ居リマス、而モ其ノ原因ハ、教育其ノモノニ十分ニ理解ヲ持タナイ若イ行政官ガ居リマシテ、濫リニ權力ヲ振廻ハシ、又無理解ナ處置ヲ執ラレル爲ニ、存分ニ腕ヲ揮ハレナイコトヲ慨歎致シテ居ルノデアリマス、況ヤアナタモ御認メニナリ、文部大臣モ御認メニナリマシタ通りニ、現今果々トシテ左様ナ實例ガ擧ツテ居ルノデアリマス、數百ヲ以テ數ヘル程ノ問題デゴザイマス、隨ヒマシテ全國ノ教育者ハ、此ノ點ニ付テハ速ニ流弊ノ一掃サレンコトヲ要望致シテ居リマス、殊ニ最近ソレ等ノ問題ノ最モ代表トモ言フベキ問題ハ、九州ノ福岡縣下ニ

於テ起ツテ居ルノデゴザイマス、ソレハ文部省督學官ガ二三箇月前ニ出張ヲ致シマシテ視察ノ結果、同縣下ノ隨一ノ優良學校、特ニ訓練ノ徹底セル點ニ於テ優良ナル學校デアルトセラレテ激賞セラレ、現ニ私ハ文部督學官ニ就イテ詳細承ツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ其ノ學校ノ校長ノ下ニ於テ、約二十年間勤續ヲ致シマシテ、現ニ奏任教諭トシテ働イテ居ル人デアル、此ノ人ガ、細カナ問題ハ別トシマシテ、十二月上旬學校長ニ呼付ケラレタ、學校長曰ク、君ヲ女學校長ニ拔擢スルヤウニ本日縣廳ニ行ツテ進言シテ置イタト申シタノデアリマス、然ルニ翌日縣ノ學務課カラ電報ガアツテ、本人ハ呼付ケラレタ、期待シテ參リマスト、君ハ酒癖ガアル、酒亂ノ癖ガアル、デアルカラ辭表ヲ提出シロ、斯ウ責メラレタノデアリマス、ソコデ本人ハ峻拒致シマシテ歸リマシタ、所ガ更ニ狼狽シタモノカ、縣カラ電話デ以テ、本人ハ恩給年限ニ達シテ居ルカラ、罷メタナラバ相變ラズ囑託トシテ、恩給ト共ニ生活ニ不安ナキヤウニシテヤルカラト云フコトニ致シテ、辭表ヲ出スヤウニト校長ニ命ジタサウデ、校長ハ其ノ旨ヲ明ニ致シマシテ、サウシテ辭表ヲ出スコトヲ勸メタノデアリマス、ソコデ其ノ教諭ハ已

ムヲ得ズ學校長ニ辭表ヲ出シタ、近頃ノ行政官ハ中々言ヒ出シタラ止マナイカラ、オ前ヤリ居ツタラドンナ目ニ遭フカ分ラヌカラ出スガ宜カラウ、詰リ謂ハバ一ツノ威嚇ニモナリマスガ、其ノ結果、本人モ既ニ二十年ノ歲月盡シテ居ルカラ宜カラウト云フノ辭表ヲ出シタノデアリマス、然ルニ學校長ハ急ニ態度ヲ變ヘテ、アナタガ學校ヘ出ラレテハ困ルカラ歸ツテ貰ヒタイと言フ、爾來本人ハ出校スルコトガ出來ナイコトニ相成ツタノデアリマス、併シ官吏トシテ濫リニ休ムコトモ出來ナイカラ出マシタケレドモ、校長カラ拒マレタ爲ニ已ムヲ得ズ休ンダ、然ルニ茲ニ不思議ナコトハ、校長ハ縣ト常ニ連絡ヲ執リツツ、一箇月分ノ俸給ノ支拂ヲシナカッタノデアリマス、サウシテ本人ガ生活上ニ不安ヲ辨々ト感ズルコトト相成ツテ、本人ヲシテ唯々諾々ノ裡ニ泣寢入リヲサセテ居ルト云フガ如キ態度ニ出タノデアリマス、固ヨリ文部大臣ハ此ノ辭表ノ進捗ヲ圖ルノ不當ナリ、危險ナリト認メラレテ、サウシテ地方長官ニ對シテ少クトモ二回ノ上京報告ヲ命ジ、普通ハスラト通スベキ辭表ガ、文部大臣ノ手許ニ現ニ握ラレテ居ル、サウシテ文部大臣ハ數回アチラニ交渉ノ結果、愈々要領ヲ得ナイモノカ、

學務課長ニ對シテ電話ヲ掛ケタ、是カラ先私ノ申上グルコトハ、福岡縣ノ立場ト御承知ヲ願ヒタイ、電話ヲ掛ケタ所ガ、福岡縣ノ某學務當局ハ、文部大臣ヲ代理スル某責任課長ノ電話ニ對シテ、内務省ナラ兎ニ角、文部ガ何ダ、福岡ノ教育界デ取沙汰シテ居ル所デ、福岡縣ノ縣廳カラ明ニ出タ所ニ依リマスルト、馬鹿野郎ト言ツタサウデアリマス、其ノ後ドウ云フ行動ニ出タカ知ラヌガ、學務部長、學務課長ノミナラズ、知事ガ上京ヲ致シテ來タト聞イテ居リマスガ、容易ナラザルコトト考ヘルノデアリマス、内務大臣ハ人事ヲ握ツテ居ルガ故ニ、文部大臣ノ威令ニ從ハシメナケレバナラス、殊ニ教權、教育ノ神聖ヲ思フ時ニ於テ、常ニ督勵ヲセラレテ居ルト仰セラレマシタガ、若シ此ノ事ニシテ事實ナリトセバ、内務大臣ノ平素ノ監督御信念ト云フモノハ、明ニ裏切ラレテ居ルノデゴザイマス、現ニ福岡縣ノ教育界ニ於テハ一大疑問トシ、又教育者ハ一大不安ニ驅ラレテ居ルノデゴザイマス、此ノ事實ハ實ニ容易ナラヌコトデアルト考ヘル、校長ハ明ニ女學校長ニ推舉スルト明言シタルコトハ、本人ガ正ニ功勞顯著ナル文部省ノ認メタヤウナ優秀ナ教員デアルト言ハナケレバナラス、然ルニ其ノ校長ノ御話ハ、極

樂ハ翌日地獄ト變ジ、學務課長ニ依ツテ各種ノ威壓ヲ受ケナケレバナラスト云フノデゴザイマス、殊ニ囑託云々ノ言葉ニ依ツテ辭表ヲ取りタルコトガ事實トセバ、正ニ是レ詐欺ノコトデアル、本人ヲ騙シテ居ルノデアル、詭計ニ依ツテ陷レタコトニナルノデアリマス、又此ノ學務課長ノ行動ハ、明ニ一種ノ恐喝、威壓的ニ、本人ノ本心ヲ枉ゲテ行動セシメタコトモ考ヘラレルノデアリマシテ、法律的ニ眺メテモ何等責任ナキ行動トモ言ハナケレバナラナイ、而モ此ノ事ノ起リタル前ニ學校長ガ某席ニ於テ、四五名ノ教員ヲ集メテ宴會ヲシテ居ル、其處ニ其ノ退職ヲ命ゼラレントシタ、辭職ヲ強要セラレタ教員ガ、禮ヲ盡シテ校長ニ懇請ニ參ツタノデアル、然ルニ其ノ校長ノ面前ニ於テ、五名内外ノ教員ガ、當人ガ餘リニ學校ノ訓育ヲ喧シク言ウテ出シヤ張ツタト云フヤウナ感情ガアツタモノカ——又アツタト云フコトガ噂ノ種ニナツテ居リマスガ、人ノ心ノ中ハ私ハ付度出來ナイ、少クトモ左様ナ意味ニ於テ噂セラレテ居ルモノガ稍、眞實カト思ハレル、後ロヨリ羽搔綿メニ致シマシテ、サウシテ其ノ教員ト同ジ科目ヲ持つテ居ル下級ノ教員デス、ソレガ數回之ヲ毆打シタノデアリマス、

然ル後ニ種々ノ宣傳ヲ致シテ、本人ヲ危地ニ陷レヨウトシタノデアリマス、其ノ教員ノ擔當シテ居ル學科目ハ、是レ亦特別ニ重要ナル科目デアリマシテ、即チ平素配屬將校ノ代理ヲ致シ、當日モ制服、制帽ヲ著テ出デ居ツタノデアリマス、而モ事ガ十二月下旬ヨリ問題ト相成リマスルヤ、本人ニ俸給ヲ支拂ハザルノミナラズ、甚シキニ至ツテハ其ノ問題ガ教育界ノ問題トナリ、色々世間ノ噂トナリ、辭表ガ文部大臣ノ手許ニ滯ツテ居ルト云フコトガ分ツテ來マスルヤ、手ヲ替ヘ品ヲ變ヘテ本人ヲ威嚇シテ居ルノデアリマス、或ハ警察當局ガ思想問題ト絡ンデ、上級官廳ニ反抗スルト思想問題ニナル云々ト云フ、取ルニ足ラザル言ヲ弄シテ、本人ニ對シテ速ニ退職スルヤウニ運動シロ、サウシナカッタナラバ警察權ノ發動ニナルト云フヤウナコトマデ申シマスシ、色々致シテ、此ノ純良ナル優秀教員ハ、有ユル壓迫ノ下ニ現在泣イテ居ル、故ニ私ハ事ヲ明ニシテ地方局長ニ申シタノデゴザイマス、ケレドモ、地方局長ハドウ考ヘテ居ラレルカ、未ダニアナタニ御報告ガナイ、絶對ニアナタハ無イト斯ウ仰セラレルノデアアル、此ノ事態ハ大體地方局長ハ知ツテ居ラレル、私ハ地方局長ノ態度トアナタノ信

念トノ間ニ齟齬ガアルト云フヤウナ小サイコトハ、今此處ニ於テハ責メマセス、ソレハ今ハ問題ト致シマセス、ケレドモ斯ウ云フ事ガアツタ以上ハ、アナタハ官吏身分保障令ヲ撤廢スル必要ナシト云フ平沼首相ノ下ニ於テ、自ラハ考慮研究ノ餘地アリト考ヘテ居ルニモ拘ラズ、平沼首相ノ斷言ニ易々トシテ從ツテ行クト云フ其ノ立場カラ推シテ行クナラバ、アナタハ責任上本問題ヲ速ニ明ルミニ出シテハツキリサセ、サウシテ無ケレバ無イデ宜シイガ、若シ有リトスルナラバ之ニ對シテ斷乎タル處置ニ出ナケレバナラナイ、詰リ身分保障令ノ撤廢ノ出來テ居ナイ今日ニ於テハ、アナタノ言ハレルヤウニ、他ノ制度運用ニ依ツテ之ヲ解決シナケレバナラナイ責任ガアルト思フノデアリマス、ソコデ私ハ茲ニ簡單ニ御答辯ガ願ヒタイコトハ、以上ノ事實ヲ御聽取ニナツタ上ニ於テ、是ヨリ御調査ニナツテ事實其ノ行政官ニシテ斯ル行爲ガアリトスルナラバ、斷乎タル處置ヲ執ルル御考ガアリマスルカ、先ツソレヲ御伺シタイノデアリマス

ト存ジマス
○長野(長)委員 私ハ文部大臣ニ一言御尋ヲ申上ゲタイノデアリマス、昨日ハ事情ヲ御調べ下サルト云フコトデアリマスガ、若シ私ノ承知シテ居ルコトガ事實トスルナラバ、知事モ上京セラレテ居ルコトト思ヒマス、如何デアリマセウカ、其ノ結果ヲ御伺シタイノデアリマス
○荒木國務大臣 昨日ノ御質疑以後ニ狀況ヲ調べマシタ、併シ内容ニ付テハ尙ホ疑義ニ屬スル點ガ多クアリマスカラ、一段ト詳細ニ調査ヲスル必要ガアルノデ、主務ニ向ツテ此ノ調査ヲ命ジテ居リマスガ、マダ其ノ報告ニ接シテ居リマセス
○長野(長)委員 ソレデハ細カナ具體的實例ニ付テノ御調査ハ別ト致シマシテ、兎ニ角左様ナ疑義ノアル點ヲ若シ調査シテ事實トセバ、重大問題デアルト云フ風ニ御認識ニナツテ居ラレルカドウカ、ソレヲ御伺ヒシタイ
○荒木國務大臣 昨日來長野君ノ御話ニナツタコトガ、其ノ儘ノ事實デアルトスレバ、此ノ問題ハ重大問題トシテ處置スル必要ガアルト思ヒマス
○長野(長)委員 行政官ガ文部省ノ威令ニ對シテ反對ノ行動ヲ執ル、又其ノ威令ニ對

シテ服從ノ行動ニ出ナカッタト云フ事實デアリマス、是ハアナタノ下僚ニ屬スルコトデアリマスカラ、モウ御分リカモ知レマセヌガ、其ノ點ニ付テ御伺致シマス

○荒木國務大臣 一方的ニ色々聽キマスノデ、或ハ斯ウ云フコトガアツタト云ヒ、今御話ノ點ニ於テ斯ノ如キ事實ガアルト云フ、其ノ邊ニ付テハマダハツキリト私ガ斯克アルベシト云フ斷定ガ下シ得ナイ爲ニ、今ノ御質疑ニ對シテ尙ホ十分ニ疑義ノ點ヲ糺シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○長野(長)委員 事ハ非常ニ急グノデアリマス、又アナタノ下僚ノ側ノコトハ直グ御調べニナツタラ分ルト思ヒマス、又内務大臣ニ於カレマシテモ漫然ト唯調ベラレテハ困リマスカラ、成ルベク今日中ニ——又一方的ノ調査バカリデモイケマセスカラ、本人ヲコツチヘ呼ブコトモ出來ルト思ヒマス、大體此ノ議會ニ於ケル政府ノ御行動ニ付キマシテハ、昨日ノ豫算總會等ノ狀況ヲ承リマシテモ、動モスレバ其ノ爲スベキ、又其ノ答ヘルベキ態度ニ於テ頗ル弛緩ノ感ジガスル、頗ル不眞面目ナヤウニ感ゼラレル場合ガ多イ、斯ウ云フコトヲ聞イテ居リマシタガ、本日ノ御答ニ付テハ——私勿論御兩人ハ誠實ニ御答ニナツテ居ルト云フコト

ヲ感ジマスケレドモ、極メテ其ノ御調査ノ能率ガ擧ツテ居ナイ、私ノ見ル所デハ唯調査調査ト云フコトニ藉口シテ居ルト云フ感ジサヘ持つノデアリマス、甚ダ是ハ禮ヲ失シタ言葉カモ知レマセヌガ、又無理ヲ要求カモ知レマセスケレドモ、現在地方長官ガコツチヘ來テ居ルコトデアリマスシ、又被害者ヲ呼ベバ分ルノデアリマス、公平ナ御調査ヲ進メラレルナラバ直キニ分ルコトト思ヒマス、ドウカ一ツ本日中ニ明ニシテ、少クトモ明日ノ委員會ニハ、其ノ調査ノ結果ヲ發表シテ戴キタイ、如何デセウカ、先ヅ文部大臣カラ御伺致シマス

○荒木國務大臣 今此處デ御話ニナツタダケノコトデモ、可ナリ之ヲ然ルベシト斷定スルニハ私トシテハ十分ナリト考ヘマセヌ、又私ノ手ニ參リマシタ文部省ノ調査ノ内容ニ付テモ、私ガ然ルベシト斷定スルニハマダ早イト考ヘマス、今御述ニナル通りニ、斯様ニ重要ナ問題トシテ考ヘラレマシナラバ、事ヲ極メテ詳細ニ誤ナキヤウニスルコトガ必要デアルト思フノデアリマス、隨テ此ノ問題ヲ明日マデニ斯克アルベシト私ガ信ズルマデニ行クニハ十分ナ時間デナイト考ヘマスノデ、調査ハ致シマスルガ、而シテ出來ルダケ速ニハ致シマスルガ、明

日マデニ之ヲ明ニスルト云フ點ニ付テハ、マダ此處デ明言ヲ致シ兼ねルノデアリマス、此ノ點ハ御諒承ヲ願ヒマス

○長野(長)委員 内務大臣ニ於カレマシテハ、先ヅ地方局長ニ對シテ私ガ御願ヲシテアリマス、恐ラク調査ヲシテ居ラレルコトト思ヒマス、其ノ調査ノ結果ヲ先ヅ御參考ニセラレテ、現ニ長官モ地方カラ出テ來テ居ルコトデアルシ、而モ直接監督ヲセラレテ居ル行政官ノミノ御調査デアリマスカラ、比較的早く御分リニナルコトト思ヒマス、凡ソイツ頃マデニ御發表願フコトガ出來マセウカ、ソレヲ御伺致シマス

○木戸國務大臣 文部大臣カラ御答モアリマシタヤウナ譯デアリマス、私トシテモ成ベク速ニ斯ノ如キ問題ハ片付ケタイト思ヒマス、併シナガラ色々御話ノアリマシタ點ニ付キマシテモ現地ニ於ケル色々事情モアリ、又文部省ノ經緯等モ御述ニナリマシタヤウナ事情モアリ、是等ヲ總テ能ク調査致シマシテ、確定的ノ意見ヲ立テマスニハ、明日マデニト云フコトハ御引受スルコトハ實ニ困難デアリマス、成ベク速ニ纏マリマシタ文部省トモ相談致シマシテ、此處デ御話スルコトニ致シタイト思ヒマス

トシテハツキリシマセヌ、殊ニアナタノ今マデニ御答ニナツタ所カラ私直感致シマシテ、益、ソレデハ困ルノデアリマス、ソレデ少クトモ最低限ニ於テ此ノ委員會ノ終了セラルマデニハ報告ヲシテ戴カナケレバナリマセヌ、是ガ最低限デス、ソレマデニ早く報告ヲセラルコトヲ私ハ希望致シマス、同時ニ私ノ方デモ御説明ニ基イテ、更ニ一層ノ調査ヲ進メル積リデゴザイマス、ドウカ一刻モ早く御報告ヲ願ヒタイノデアリマス、又事ハ重大ナコトデゴザイマスカラ、所謂政治的ナ、過去ノ常習的ナ、一般ニ行ハレタ政治的ナコトトカ、或ハ事ヲ曖昧ニスルトカ、或ハ官權ヲ——サウ云フコトハアリマスマイケレドモ、御監督下デアアルカラ大丈夫デアルト思ヒマスケレドモ、遠方ノコトデアリマスカラ、官權ヲ濫用スルコトノナイヤウニ堅ク此ノ點ハ御注意願ヒタイ、又警察官ヲ私ハ否認スル譯デアリマセスケレドモ、警察ハ知事ノ轄下ニアリマス、今ヤ知事ハ云ハバ被告ノ立場ニナツテ居リマス、責任者ノ立場ニナツテ居リマス、而シテ被害者ハ陸軍將校デアリマス、而モ私ノ知り得ル所デハ、配屬將校ノ代理ノ仕事ヲヤツテ居ル、先日私ノ聞ク所デハ、視察官モ行ツテ稀ニ見ル成績ナリト激賞シ、何等批評

スル所ナシト言ハレテ居ル、私ノ調ベタ所
デハ、平素配屬將校代理ノ如キ務メモシテ
居ル、隨テ同校ノ生徒ハ勿論之ニ憤慨シテ
歎イテ居ル、二十年間其ノ學校ノ模範的建
設ニ盡サレタ其ノ先生ガ、有耶無耶ノ間ニ
休校致シテ居ルト云フコトニ對シテ非常ニ遺
憾ニ感じテ居ル、慨歎ヲ致シテ居ルノミナ
ラズ、白晝公々然ト追出サレル、而モ本人ハ
別ニ反抗ヲシナイ、而モ其ノ本人ハ擊劍三
段デアリマス、故ニ不意ニ後ロカラ抱キ締
メテ毆ツタノデアル、併シ擊劍三段デアル
ケレドモ、報復的行動ニハ出デ居ナイ、私
ノ信ズル所、理想ニ近イ優秀教員デアリマ
ス、科目ハ割合少イ科目ノ擔當ヲシテ居ル
ケレドモ、奏任官デス、各區内ノ校長カラ
理想ノ教員ト見ラレ、模範校ノ建設ニ盡シ
タル教員ナリト、文部大臣ノ輔佐官トシテ
ノ視學官ハ銘ヲ打ツテ居ル、斯ウ云フ譯デ
ゴザイマスカラ、速ニ御調査ニナレバ事ハ
ハツキリ直チニ分ルデアリマス、故ニ内
務大臣ハ自分ノ隸下ニ在ル、自分ノ管下ニ
在ル學務課長、部長ノ問題デアリマス、立
ドコロニ分ラナケレバナラス、一言シテ置
キマス、之ヲ若シ調査ニ名ヲ藉ツテ内務大
臣ガ——内務大臣ノ場合デス、内務大臣ガ
數日ヲ要スル如キコトガアルナラバ——此

ノ大切ナル神聖ナ教育ヲ監督スベキ官吏
ガ、帝國議會ニ於テ問題トナルガ如キ
非行ノ疑義ニ對シテ、數日ヲ以テシテモ
尙ホ解決シ得ラレヌコトデハ内務大臣ノ
威令ハ行ハレナイ、内務大臣ノ隣間ノ行
動デ分ルベキコトガ尙ホ分ラナイト云フ
所ニ、果シテ内務大臣ノ職責果シ得テ居
ルヤ否ヤト云フ問題ガ生ジテ來ルコトヲ
御承知願ヒタイ、同時ニ全國ノ三十幾萬ノ
教育者ハ、アナタニ依ツテ任命セラレタ行
政官ノ下ニ不安ヲ感じテ居ルト云フコトヲ
御承知ヲ願ヒタイ、又本問題ヲ遷延スル時
ニ於テハ、益、其ノ不安ヲ感ゼシメルモノデ
アルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、サウ
シテ先程アナタノ言ハレタ官吏身分保障制
度ニ付テハ、撤廢問題ニ付テ考慮研究ヲ要
スルト云フコトニ併セ考ヘラレテ、責任ア
ルアナタノ速カナル御發表ヲ切望シテ、一
先ヅ是デ打切りマスガ、都合デハ他ノ關係
當局ノ説明モ求メナケレバナリマセヌノデ、
ソレ等ト併セテ再ビ兩大臣ノ御報告並ニ御
意見ヲ承ラナケレバナリマセヌカラ、其ノ
コトニ付テハ篤ト御諒承ヲ御願致シマシテ、
何分其ノ際ニハ萬障繰合セテ出來ル限り御
出席下サルコトヲ御願申上ゲテ置ク次第デ
アリマス

○野村委員長 庄司君、ドウデセウカ、モ
ウ時間ガアリマセヌガ、簡單ナラ……
○庄司委員 簡單デス——先般内務大臣ハ
地方長官ニ御命令ヲサレマシテ、全國市町
村ノ昭和十四年度ノ豫算ノ編成ニ關シテハ、
昭和十三年度ノ全國市町村ノ當初豫算ヨリ
歳入歳出共五分ヲ絕對的ニ引クベシト云フ
御命令ヲサレテ居ルデアリマス、而シ
テ地方ノ府縣ノ長官ハソレノ其ノ當該管
内ノ市町村長ニ對シマシテ、昭和十四年度
ノ市町村ノ豫算ノ編成ニ關シテハ主務省ノ
命令ガアルガ故ニ、豫算ノ各款、各項目ニ
互ツテ、昭和十三年度當初豫算額ヨリハ絕
對的ニ五分ヲ引ケ、斯ウ云フ御命令ノ下ニ、
只今市町村ニ向ツテ強制ヲサレテ居リマス、
其ノコトハ内務大臣ハ御命令ヲ出サレタ御
當人デゴザイマスカラ、百モ御承知ノコト
デアルト思フデアリマス、然ルニ只今地
方政費ヲ輕減シテ經濟的ニ賄フト云フコト
ハ、是ハ常識上惡イコトデハ毛頭ナイコト
ヲ本員モ確信ハ致シテ居リマスケレドモ、
市町村ノ教育ニ關スル豫算、就中專ラ青年
學校ノ校費ニ關スル限りハ、如何ニ内務大
臣ノ御命令ガ天降リ的ニゴザイマシテモ、
只今縷々諄イコトヲ申上ゲル時間ガゴザイ
マセヌカラ簡明ニ卒直ニ申上ゲマスガ、御

承知ノ如ク青年學校義務教育費ノ第一年度
デアリマスルガ故ニ、生徒ノ數ハ十四年度
ニ於テハ全國的ニ非常ナル増加ヲ見ルノデ
アリマス、又青年學校ノ教育費ノ臨時部ニ
於キマシテモ或ハ机デアル、腰掛デアル等
其ノ他色々ナ整備費等ニ付キマシテモ、或
ハ專任教員ノ増員ニ付テハ市町村ノ一般會
計ニ於テ、當然是ハ増加セザルヲ得ナイノ
デアリマス、他ノ勸業其ノ他各種ノ市町村
ノ財政ハ緊縮致シマシテモ、青年學校ノ教
育費ニ關スル限りハ——市町村ニモ色々追
加豫算ガゴザイマスガ、十三年度ノ當初豫
算ニ比シテ十四年度ノ市町村ノ豫算ノ編成
ヲ、各款、各項目ニ互ツテ、絕對的ニ五分
ヲ引ケト云フ御命令ハ、青年學校義務教育
實施ノ第一年度ニ際シマシテ、洵ニ是ハ矛
盾撞著スル所ノ、不合理ナル所ノ御命令デ
アルト私ハ考ヘテ居リマス、私ハ郷ニ在ツ
テハ一町ノ町長デゴザイマス、世界列國ニ
冠タル光榮アル所ノ青年學校義務教育ヲ斷
行サレタ、我が帝國ノ教育史上ニ燦トシテ
永遠ニ其ノ光榮ガ輝ク、其ノ斷行者デアル
所ノ内務大臣木戸サンハ、畫一的ナ左様ナ
御命令ヲ出サレタトハ言ヒナガラ、青年學
校教育費ニ關スル限りハ果シテ如何ナル考
ヲ持ツテ居ルカ、又文部大臣ハ青年學校義

務教育ノ第一年度ニ際シマシテ、市町村ニ於テハ青年學校ノ義務制ニ伴ウテ、一般會計ニ於テ臨時部ノ色々各種ノ整備費等ニ於テモ、當然前年度ヨリハ増額サレコトヲ豫想サレマシテ、少イケレドモ、前年度ヨリ文部省ノ青年學校ニ關スル限り國庫補助ノ増額ニ於テ約三百万圓デアリマス、國費ニ於テ青年學校ノ義務教育費ガ膨脹シタト同ジ意味ニ於テ、府縣ニ於テモ市町村ニ於テモ當然青年學校ノ義務教育費ヲ實施スルニ付テ、關聯致シマシタル費用ニ於テハ、到底昭和十三年度ノ青年學校ニ關スル所ノ當初豫算ノ金額ヨリ、十四年度ノ豫算編成ニ際シマシテ五分ヲ引ケト云フコトヲ強制的ニ實施サレマシタナラバ、全國一万一千四百ノ市町村長ト云フモノハ、此ノ青年學校ノ義務教育ト云フモノノ其ノ第一年度ニ於テ、非常ナル所ノ施行ノ阻碍ヲ免ルコトガ出來ナイノデアリマス、五分ヲ天引スル、青年學校教育費ニ關シテ輕減ヲスルト云フ、此ノ無謀極マル所ノ内務大臣ノ御命令、是ハ文部大臣ニ於テハ内務大臣ト御協議ノ上御承諾ナサレタノデアルカドウカ、只今現實ノ問題トシテ市町村ノ豫算編成ハ、御承知ノ如ク市制並ニ町村制ニ依ツテ毎年二月末マデガ豫算ノ編成期デゴザイマス、只今一齊ニ

全國ノ市町村ガ豫算市町村會ヲ開催シテ居ル、此ノ際ニ當ツテ全國ノ市町村ガ、特ニ此ノ内務大臣ノ命令、或ハ地方ノ第一次ノ監督官廳デアアル府縣知事ノ命令ヲ敢テ拒ムモノデハアリマセヌガ、青年學校教育費ニ關スル限りハ、如何ナル財政變理ノ名手腕ヲ有スル市町村長ト雖モ、十四年度ノ青年學校ノ市町村ノ豫算編成ニ際シマシテハ、昭和十三年度當初豫算ヨリ生徒ガ殖エル、設備費ガ當然増サナケレバナラヌカラ、十四年度ノ第一年度ニ於テハ絕對不可能デアルノニ、遮ニ二飽クマデモ所謂杓子定規デ畫一的ニ青年學校義務教育ノ市町村ノ豫算マデモ此ノ型ニ嵌メテ、十三年度豫算ヨリ五分ヲ絕對ニ引カセネバナナイト御考ニナツテ居ルカドウカ、文部大臣、内務大臣ニ直接關聯ノアル、目下全國市町村豫算編成ノ眞最中ニ於テ重大ナル關聯ヲ持ツテ居ル實際的ノ問題デアリマス、是ハ「ユーロピア」デモ、空想的理想論、觀念論デモ何デモナイ、現實ノ問題デアル、青年學校ノ義務教育費ノ實施斷行ニ關シマシテ、英斷ヲ以テ、世界列國ニ冠タル所ノ全國勤勞青年三百万ノ義務教育ヲ斷行セラレタ文部大臣ハ如何ニ御考ニナツテ居ルカ、其ノ御意思ヲ繼承サレテ、來年度ヨリ實施ノ第一

年度ヲ指導監督サレントスル内務大臣ハ、此ノ問題ニ付テ何ト御考ニナツテ居ルカ、是ハ極メテ大切ナ、緊切ナ問題デアルガ故ニ、委員長ノ御許ヲ得テ、特ニ内務大臣、文部大臣ニ關聯アル問題デアリマスカラ、全國ノ市町村長ガ豫算編成上齟齬シナイヤウニ、間違ハナイヤウニ、迷ハナイヤウニ、明快ナル御答辯ヲ、議會ヲ通シテ、特ニ全國ノ市町村長、即チ青年學校ヲ直接管理經營ノ委任事務ヲ受ケテ居ル人々ニ御示ヲ願ヒタイノデアリマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○本戶國務大臣 地方ノ財政ニ付キマシテ五分ヲ引ケト云フコトハ、節約ノ意味カラ致シマシテ、國家ノ豫算其ノ他ト同ジヤウナ意味ニ於テ方針ヲ示シテ居ルノデアリマス、唯、今ノ青年學校ガ今度義務制ニナルニ付テ、相當ナ費用ガ要リマスコトハ勿論デアリマス、ソレヲ義務ニナラナイ前ノ豫算カラ五分ヲ引イテ尙ホ實施シロト云フヤウナ非常識ナコトハ言ツテ居ナイガラウト思ヒマス、唯問題ト致シマシテハ、御話ノ通り現實ノ問題デアリマス、特ニ其ノ點ニ付キマシテハ調ベマシテ、適當ナ機會ニ政府委員ヨリ御答辯ヲサセルコトニ致シマス

○荒木國務大臣 只今内務大臣カラ御答致シマシタノデ、私カラ御答スル必要モナカラウト思ヒマスガ、青年學校實施ニ關シテ所要ノ經費ガ要レバ、或ハ假ニ今ノ五分ト云フコトガ畫一的ニ行ハレルトシマシテモ、十分ニソコニ餘地ガアルノデハナイカト思ヒマス、青年學校教育ノ必要ノ爲ニ要スル所ノ經費ハ、又別ニ相談モ出來ルコトト私ハ信ジテ居リマス

○庄司委員 遺憾ナガラ文部大臣ハ地方町村ノ實際ノ豫算ノ編成上ノコトヲ御承知ナイカノ如ク私ハ只今直感致シマス、一旦市町村ガ可決確定致シマシテ府縣知事ノ認可ヲ取リマシタル豫算ハ、緊縮豫算編成ノ内閣ノ下ニ於テハ、絕對ニ追加豫算ト云フモノヲ許サスノデアリマス、「プライベート」ナ青年學校振興會ト云フヤウナ會ガ寄附デモ地方カラ集メテ行クト云フ場合ニ於テハ、今文部大臣ノ御考ニナラレテ居ルヤウナコトガ實現致スコトハ容易デゴザイマスケレドモ、地方町村ノ公費ヲ以テ追加ト云フコトハ、町村ニ於テハ絕對ニ地方長官ハ許シマセヌ、デゴザイマスカラ此ノ事ハ水掛論トナル虞ガアリマス、内務大臣ニ於カレテモ、文部大臣ニ於カレテモ、市町村ガ青年學校ノ義務教育ヲ第一年度ニ於テ實施スル爲ニ、將來阻碍ヲシナイ程度ニ、色々御配

慮、御心配ヲ御願申上ゲタイト思ヒマス

○荒木國務大臣 今何カ誤解サレタヤウデアリマス、決定シテカラ後ト云フコトデハナク、サウ云フ通達ガアツテ編成中ニ、ソレデハ困ルト云フコトガアレバ、ソコハ幾ラデモ相談ガ出來ルノデハナイカ、斯ウ云フ意味デ申上ゲタノデアリマスカラ、誤解ノナイヤウニ願ヒマス

○庄司委員 地方府縣ニ於キマシテハ地方課長ト云フモノガ其ノ衝ニ當ツテ居リマス、各款項目ニ互リマシテ絶對ニ彈性性アリ伸縮性アル御許ガナイノデアリマス、青年學校教育費五分、勸業費五分、警察費カラ五分引ケト云フ天降リ的、杓子定規的ノ狀態ニナツテ居リマスカラ、特ニ此ノ點ハ內務省ノ御配慮ヲ御願申上ゲタイ、斯ウ云フ意味デアリマス

○野村委員長 十二時過ギマシタカラ、本日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス

午後零時十分散會

昭和十四年二月二十一日印刷

昭和十四年二月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局